

いずみホール×大阪芸術大学

HD archive project

いずみシンフォニエッタ大阪・アーカイブプロジェクト ～インターネット配信へむけて～



結成15周年

いずみシンフォニエッタ大阪

音楽監督: 西村朗
 常任指揮者: 飯森範親
 コンサートミストレス: 小栗まち絵

*Izumi
 Sinfonietta
 Osaka*

現代音楽の演奏を主目的とする、いずみホールのレジデント・オーケストラ。大阪出身の作曲家・西村朗の提唱により2000年に結成。核となる編成は1管編成の室内オーケストラで、曲目に応じて変動する。メンバーは、関西在住または出身など、地元ゆかりの演奏家で構成されている。平成13年度大阪舞台芸術賞受賞。

産学連携で新しい魅力を引き出す

いずみホールは、大阪芸術大学放送学科とタッグを組み、ホールの専属楽団・いずみシンフォニエッタ大阪のコンサートを同学科の学生達がハイビジョンカメラで収録するという試みを2015年7月18日の「第35回定期演奏会」で行います。大阪芸術大学が4月に導入する新しいハイビジョン中継車を使用、4台のカメラで演奏会を収録します。

これは、学生達にとっては「プロの音楽家による演奏会の収録体験」として貴重な実地体験となります。参加学生は本番3日前の練習時より見学可能とし、演奏学科の学生もメンバーに加わって、楽譜や練習の様子をもとに撮影のタイミング、アングルなどを吟味してもらえれば、と考えています。

いずみシンフォニエッタ大阪としては公演の鮮やかな記録をアーカイブとして作成することができ、作曲者、演奏者の同意を得ら

れた演奏はインターネットを通じて無料で配信していく計画です。ターゲットは“日本”のみならず“世界”の音楽ファン。演奏力のみならず日本人作曲家の優れた作品もアピールしていきたいと考えます。同時に学生たちの視点で演奏会を見ることで新たな切り口を、学生達にとっては演奏家の活動を身近で感じることで音楽への理解を深めてもらえれば、と充実した相互作用を期待しています。

より多くの方に魅力を知っていただくために、結成15周年のいずみシンフォニエッタ大阪は映像の力もフル活用していきます。



大阪芸術大学 放送学科

多様化する現代のメディア産業に対応し活躍できる人材の育成をめざし、「制作」「アナウンス」「広告」「声優」の4つのコースから専門性を養い、メディアに携わるものとしての知識と技術を育てます。

大阪芸術大学

昭和39(1964)年4月開学。造形系5学科、メディア系6学科、音楽系2学科、教育系1学科の計14学科、50コース・研究分野を網羅しており芸術のほぼ全てのジャンルをカバーした、全国屈指の規模を有する総合芸術大学である。

いずみシンフォニエッタ大阪第35回定期演奏会

「天女散花、恋は魔術師」

2015年7月18日(土) 16:00

飯森範親(指揮)、鈴木大介(ギター)
 林美智子(メゾ・ソプラノ)

ヴァイラ=ロボス: ブラジル風バツハ第9番、
 前奏曲第3番(ギター・ソロ)

西村朗: ギター協奏曲《天女散花》

坂東祐大: 委嘱新作

ファリャ: 恋は魔術師(1915年版)

インターネット活用 「いずみシンフォニ

エッタ大阪Facebookページ」で演奏会のビデオ解説、当日プログラム解説の公開、メンバープロフィール、練習状況等の情報を集約しています。今回の動画発信計画では専用YouTubeページの新設を考えています。



お問い合わせ: いずみホール広報担当 森岡
 TEL(06)6944-1130
 morioka@izumihall.co.jp